

本時のねらい

・「話し言葉」から「書き言葉」に書き換えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ロノノートの機能を使って友だちの回答を共有し、話し合うことで、言葉の使い方の間違いに気づくなど、正しい言葉遣いを身に付けようとする。

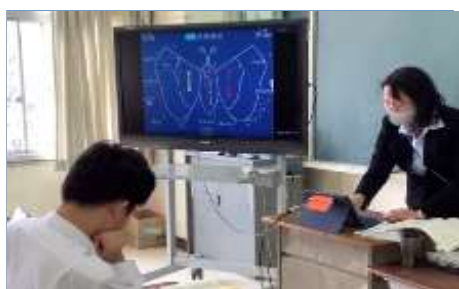
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ ロノノート ・ NHK for School ・ Google Meet ・ テレビモニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の目標を伝え、タブレットのアプリ「NHK for school」の番組「かくとぎのことば」を見て、「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度の視聴では理解できない場合も、それぞれのペースで何度も繰り返し視聴する。
展開 (30 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● シーン 5 の「ことばドリル」に挑戦する。自分で「話し言葉」から「書き言葉」に書き換える。 ● 書き換え後、ロノノートで提出する。 ● さらに良くなるように、友だち同士で話し合い、再度推敲する。 ● 新しい例題を送り、自分で「書き言葉」に書き換える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロノノートに例題を送り、タッチペンを使ってドリル学習を行う。 ・回答を画面共有することで、どのように変換するのが最も良いか、友だちの意見を参考にし、考えることができる。
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 再度推敲したものを友だちと共有し、最も良い例をみんなまで考え、確認する。 ● 今日の授業をふり返り「書き言葉」に書き換える時のポイントを確認する。 	

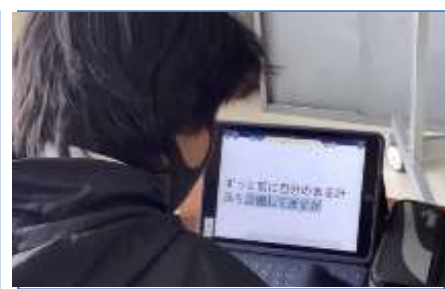
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



ロノノートを活用し、「話し言葉」と「書き言葉」を分類して確認している場面。



回答共有した友だちの意見を見て、同じ問題に再チャレンジしている場面。



今日学んだことをもとに「書き言葉」で最近の出来事を書いている場面。

児童生徒の反応や変容

バタフライチャートを活用し、「話し言葉」と「書き言葉」に分類し、それぞれの言葉の違いが理解できた。その後、自分で考えて作文を書く課題の時には、しっかりと「書き言葉」で書き表すことができるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

授業の導入部分で、楽しい動画を見せることにより、生徒たちに興味を持たせることができた。タブレット端末には便利なアプリや機能があり、効果的に使えたと学習が進み、生徒たちの学びのサポートになると感じた。また、Google Meet を使って家庭から授業に参加することができた生徒もいたので、様々な場面でオンラインを活用していきたいと感じた。